

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
平川 公義
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

この号の扉で、日本脳神経外科学会を社団法人にした頃について、吉本高志名誉教授が回想しておられる。あれがもう10年も前だったことを思い起こした。あの当時、吉本教授は、初代の理事長として淡々と山積する課題を片付けておられるように見えた。しかし、これを拝読して、実は大変な決意と覚悟をもって取り組まれていたことを知った。あらためて、日本脳神経外科学会への貢献に御礼を申し上げたい。

この号に掲載されている他の論文も、1つひとつが実に興味ある問題を含む力作である。注目に値するのは、いずれもが、多額の研究費によって実現したものではなく、臨床の現場での地道な努力や工夫の成果であることである。

近年は、基礎の研究は言うまでもなく、臨床の研究においても、国際誌に論文を掲載することが重視されている。なかでも、多額の研究費を与えられる研究の成果は、広く世界に知ってもらふ必要があるから、大部分が国際誌に発表される。その結果、どんな論文も国際誌に発表しなければ意味がないと感じられるようになった。脳神経外科でも、若手ほどそういう意識が強い。

雑誌の評価は、それぞれに掲載されている論文の引用回数で表現される。そのせいで、国際誌の編集者は、引用回数を上げるために、単純な観察研究を掲載したがない。まして、症例報告となると、原則として掲載しないと明言していることが多くなった。もともと、症例報告の引用回数は低い。それだけでなく、めずらしい症例であればあるほど、その引用回数は低くなる。そのため、そういう症例報告は、かえって雑誌の評価を下げてしまう。

臨床に限って言えば、このような傾向は好ましいこととは思えない。臨床の現場での地道な努力や工夫を議論しにくくなるからである。論文を国際誌に掲載することにこだわると、そういう議論を交わす習慣さえ失われそうな気がする。

それに比べると、本誌では、いろいろな努力や工夫を自由に取り上げることができる。昨今は、本誌に掲載されているような論文こそ、わが国の脳神経外科の底力を培っているのではなかろうかとさえ思う。今後も、本誌のような媒体は大切にしたいといけないうだろう。

Neurological Surgery 脳神経外科
(第40巻第8号)

2012年8月10日発行(毎月1回10日発行)

定価 2,730円(本体 2,600円+税5%)

〔2012年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)〕
冊子版/通常 32,760円、冊子版/個人特別割引 30,030円、冊子+
電子版/個人特別割引 35,030円、冊子+電子版/共有 42,700円、
電子版/個人特別割引 30,030円、電子版/共有 37,700円

E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID: noge パスワード: noge

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)リーブルテック 電話 (03) 3927-6411

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY® <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。